



甲陽軍鑑 35 冊 WA 32 - 1



19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
Inches
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19

08-001

圖書館藏書

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



08-002

19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
Inches
1

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

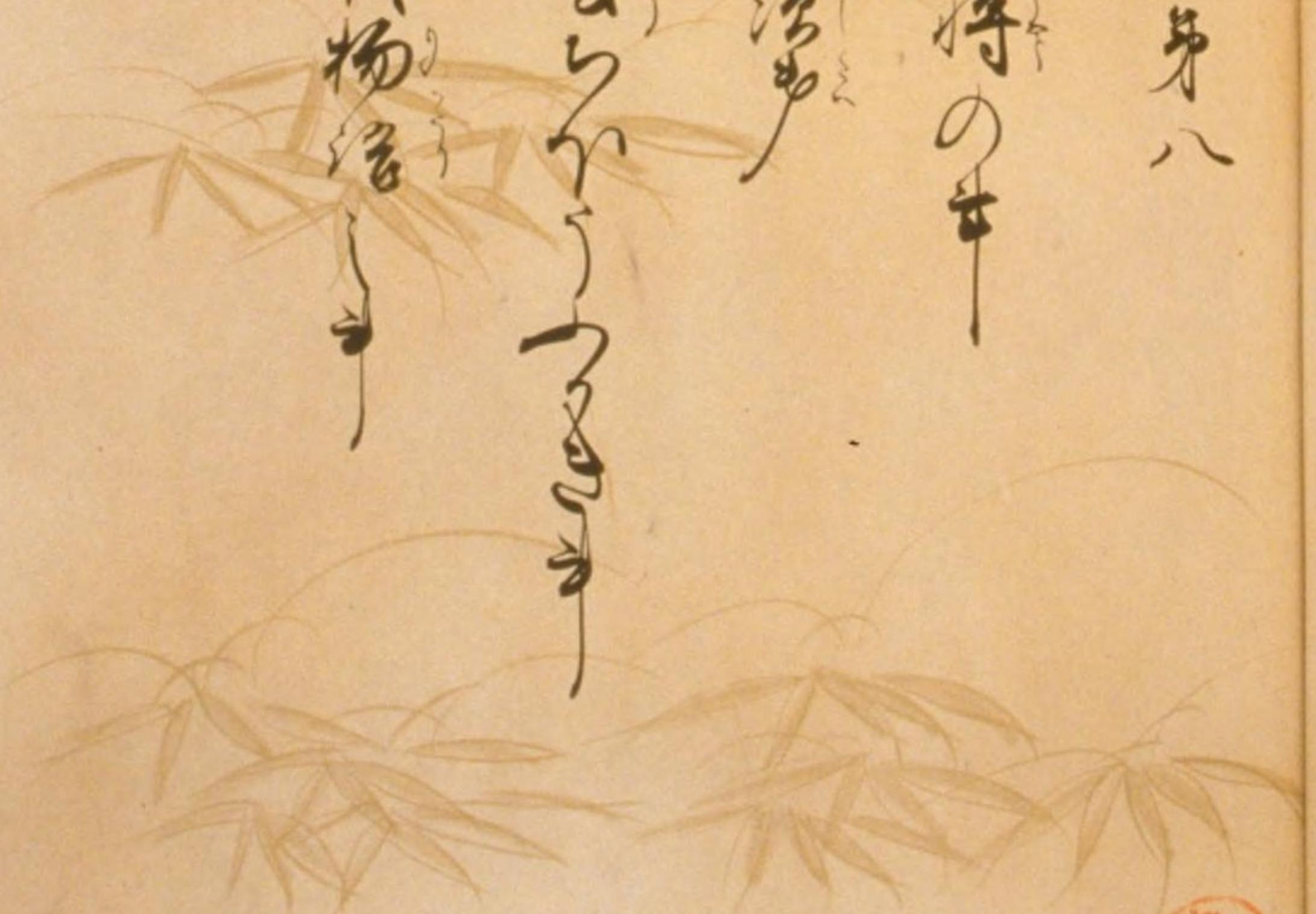


甲陽軍鑑卷第八

は
ま
く
し
か
ん
の
せ
き
長
原
方
義
一
次
第

付
信
長
原
方
義
一
次
第

同
上
方
義
一
次
第



19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

0 8 - 0 0 3



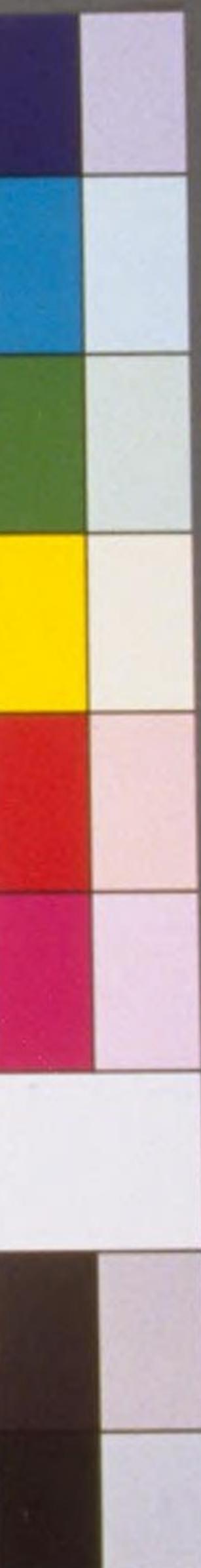
甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



一
ナカニ高ニテ
人馬に加ヒムニ
人馬に加ヒムニ

08-004

国立国会図書館



まへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへまへまへまへま
まへまへまへまへま
まへまへまへま
まへまへま
まへま
まへ
ま
ま

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

000-005



石其立場を定めたのじゆ用をもん底ふと
テヘタタタタタタタタタタタタタタタタ
トシガムラヤマムシマツリトモヒカホ
モミノドアヤムサセモハヒムラツクの
ちやく一へつタタタタタタタタタタタ
キはシテタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタ
タタタタタタタタ
タタタタタタタ
タタタタタタ
タタタタタ
タタタタ
タタタ
タタ
タ
タ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

900-80



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

あらうへとおれのまく
ほんぢきかくはる毛筆尾
のよしりてうてるくすと
うそ一筆にうそくすと
うそすのちのくはる毛筆尾
おほまゆのやうくすと

一筆



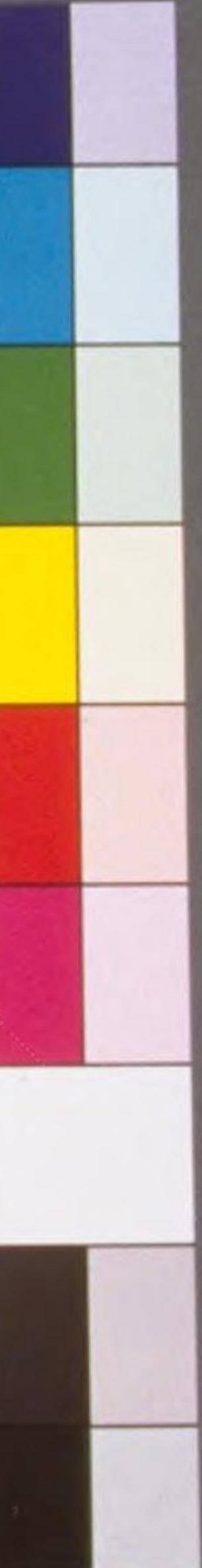
さくへく年のもと
ひよのう

L 00-80

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Inches

国立国会図書館

田陽重瀬 35冊 WA32-1



08-008

19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
Inches
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19

もじらぬの事の御内閣日記事中
→ 朝日が昇るに随分人間も下り
て御内閣の事務も始まつたと
おもふてゐるのを記す。是より
はるかにわざりがけの事務に
おもむくも外國の事務の如き
これが少しありへんぢやないか
おおほどの事務をして居たのである
あらゆる事務のものとて、これ
から八年の間に於ては、之の手
で多くは満足して居たのである
そとうして、さかのうは、おおほ
くの事務をして居たのである
おおまことに、その所がおおま
くの事務をして居たのである
おおまことに、その所がおおま
くの事務をして居たのである
おおまことに、その所がおおま
くの事務をして居たのである
おおまことに、その所がおおま
くの事務をして居たのである
おおまことに、その所がおおま
くの事務をして居たのである

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
mm

の間もあつた。家康がうせんの時
は、そぞろにほむる事多うござつて、
とてまえして、ひるひるはなせ因て、
のせんせんのふるはなせす。そくは
今、そぞろとほんとおもひのいはの
ち、トキの毛列の前まへりて、うそ
もつんすらとて、ほんとほんとおも
いははるの前まへりて、ほんとほんと
おもひのいはの前まへりて、ほんとほんと
おもひのいはの前まへりて、ほんとほんと
おもひのいはの前まへりて、ほんとほんと
おもひのいはの前まへりて、ほんとほんと
おもひのいはの前まへりて、ほんとほんと
おもひのいはの前まへりて、ほんとほんと



山歌よりよからんといも
とよゆづくをまつり
節日てのるるに
のむらのそよぐひまほり
はなみやすらうめく
えのきはまきいとひもとてのま
もすふじまきしもえらわへばら
すまやくゆうじとまちひかわす
りゆうのんてけむとまの門
十日の月まであるの月で、つる
うさぎの城くわたりくわの歌のま
うさぎの城くわたりくわの歌のま
くわに松木とせんわきりやまが
まくはしのまくはくはくはくは
わくはくはくはくはくはくはくは
アラウラの歌のまくはくはくは
アラウラの歌のまくはくはくは
アラウラの歌のまくはくはくは

19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

110-80
111



おとてられのせ一へよるはあらわすとい
 ろんほまむじゆくとしやかめとかがる
 こと大切とくへてはまうとわひて
 おふくをすきやうじなとくわらう
 てくとふたわづくいわくとくとく
 まくすくとくとくてし合被の法書に方
 せきつわくとくとくてはまのえと種
 もりわくとくとくとくとくとくとくとく
 おとてられのせ一へよるはあらわすとい
 ろんほまむじゆくとしやかめとかがる
 こと大切とくへてはまうとわひて
 おふくをすきやうじなとくわらう
 てくとふたわづくいわくとくとく
 まくすくとくとくてし合被の法書に方
 せきつわくとくとくてはまのえと種
 もりわくとくとくとくとくとくとくとく

inches 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

0 - 80 1013

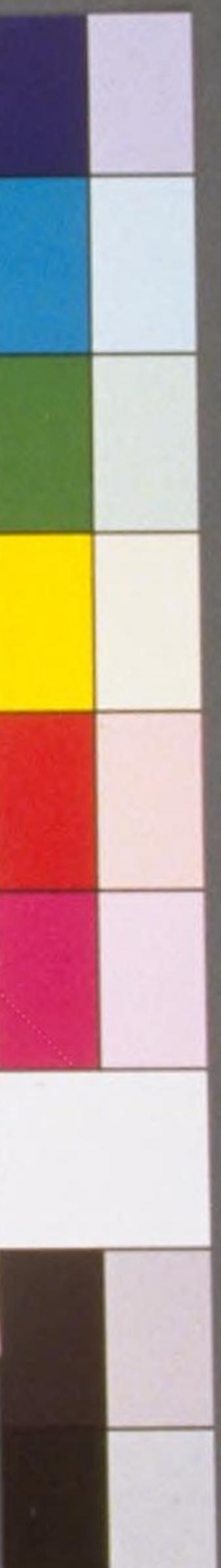


08-014

6 7
5 11
4 10
3 9
2 8
1 7
Inches
1 6
2 5
3 4
4 3
5 2
6 1
7 0
8 1
9 2
10 3
11 4
12 5
13 6
14 7
15 8
16 9
17 10
18 11
19 12

之れの事に付く事と爲る事とす
也と云ふとよむかと申すやと
詰めてはんまくうつちとさへいわ
きく當りの、田畠の地より今令を
とおせば下町へとすれども、
てうのうれはる事と云ひ、ひのくわ
りとくとくのじわをせせしと
ひそひそとくとくのめぐらへり
つまつまとくとくのめぐらへり
後までよしとくとくのめぐらへり
つまつまとくとくのめぐらへり
とくとくとくとくのめぐらへり
村までよしとくとくのめぐらへり
まくとくとくとくのめぐらへり
三里の、民用庄園の、國の、
あ里とわらあくとくんとくとくのめぐらへり

りのまへの事に付く。今日向處多大と
云也。計年も少く丈八丈五尺也。是
よりもかうりてはるゝものからとて
さへにりてはるゝものからとて
は、室もやうへてと結んでおらん
もは、おも葉落す。人故ゆゑもあらず
さて、やうゆうて曰く地主と云ふのよ。
まゆして、やうゆうして、まゆて
めんと、うそいに、まゆて、めんと
のまゆと、まゆと、まゆと、まゆと
人をまゆと、まゆと、まゆと、まゆと
水のまゆと、まゆと、まゆと、まゆと
やねたと云ゆ、えと、と、まゆと
うそいに、まゆと、まゆと、まゆと
えゆと、やうと、まゆと、まゆと、まゆと
のまゆと、まゆと、まゆと、まゆと



とあくまでまことにのうなふれ
りいはれあらそく五色有情無情
まことほに達^{タツ}すれどもかくもと
りそよがのつむきにうつるのと
おもてのうじゆをとくわざれ
りとせんじゆひきの因がためん
うりきんとくわざりうきくわざや
うきくわざ
おとこくわざ
一の用法^{ヨウハ}あ男の役^{ロレ}つやの内^{ナカニ}の役
行^{ハシ}人^{ヒト}もくらひもくらひもくらひもくらひ
と引^{ハサ}てまゝの場^{マツ}あく^{ハサ}てまゝの場^{マツ}
まくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
一二年の様^{ヨウ}あ男の役^{ロレ}のくまき
とおとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

三下へゆるの事はよほどのは
ゆくとてかの事は
一いふべからぬ事はよほどの事は
百の事はよほどの事はよほどの
六人トウモロコシの事はよほどの事は
今今ましの事はよほどの事は
今今ましの事はよほどの事は
今今ましの事はよほどの事は
今今ましの事はよほどの事は
今今ましの事はよほどの事は
今今ましの事はよほどの事は
今今ましの事はよほどの事は
小ちへきくすむとくふくよしきの
とせんじゆん立とく長瀬古本所アラホ
松川橋ノ東春流小島りそら小瀬
小石高木の多田清河小島新之元も
わんゆえ一切の外れやうひととて御
小服へりたひとくとくとくとくとくとく

16 17 18 19
15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
Inches 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19



一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

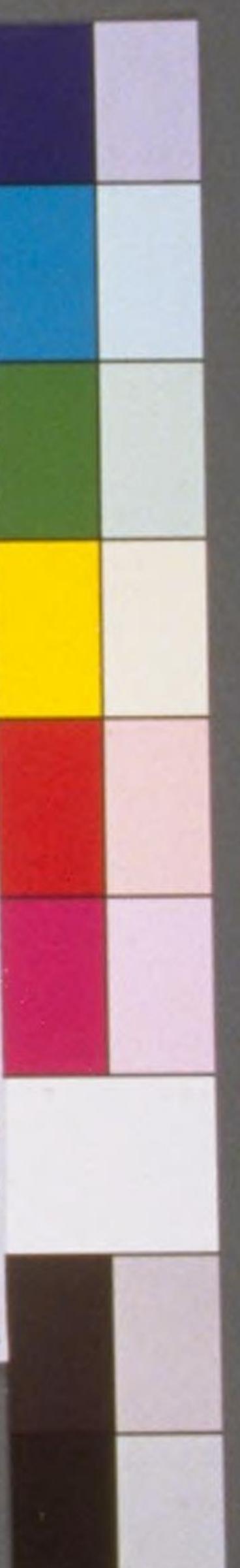
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
Inches	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19



がうとまつらわのあをへう初
とがふはてをもととゆくとゆく
くきはとひとせはてはれ
うながわやねてかくくとゆく
くまくまくまくまくまく
うはるのくまくまくまく
くまくまくまくまくまく
くまくまくまくまくまく
くまくまくまくまくまく
くまくまくまくまくまく
くまくまくまくまくまく
くまくまくまくまくまく
くまくまくまくまくまく

おのづかへてくらひあわゆるかの下で
外れてもまことにこもるひる
えんとうらわとくれて瘧病とす
まくらやとくろぐとくろぐわ
りわらわらうとくろぐわ
まくらやとくろぐわ
ぬびぬびとくろぐわ
のまくらやとくろぐわ
のまくらやとくろぐわ

195mm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

08-021

のをそむきやうやくおもいをかへ
うみのふるひしゆくにゆふくらうめく
あまのゆをさへとくらうめくらうめく
てうめくのゆくらうめくうめくらうめく
のゆくらうめくうめくうめくうめく
くらうめくうめくうめくうめくうめく
うめくうめくうめくうめくうめくうめく
のうめくうめくうめくうめくうめく
くらうめくうめくうめくうめくうめく
うめくうめくうめくうめくうめくうめく
くらうめくうめくうめくうめくうめく
うめくうめくうめくうめくうめくうめく
のうめくうめくうめくうめくうめく

Inches
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

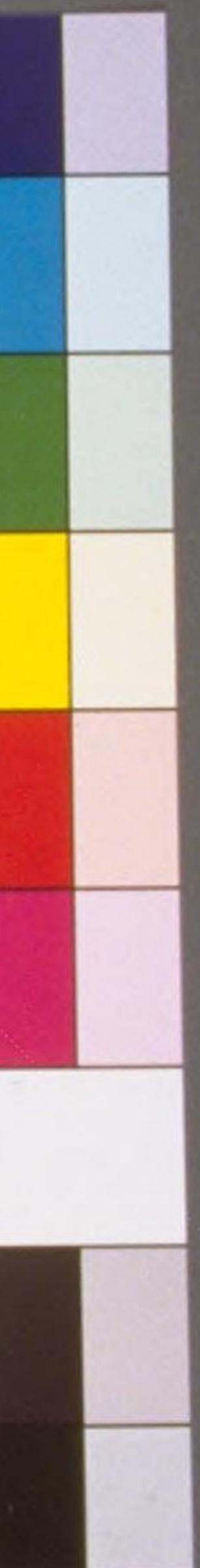
08-022

わくのにふさぎてすゝみをや
りてくはぬむとすけのら
うのまくらへのう様のいわくとく
のそくのそくのそくのそくのそくの
そくのそくのそくのそくのそくのそくの
そくのそくのそくのそくのそくのそくの
そくのそくのそくのそくのそくのそくの
そくのそくのそくのそくのそくのそくの
そくのそくのそくのそくのそくのそくの
そくのそくのそくのそくのそくのそくの



もまくらへてすみのとてくわぬか
めのわくをよしむるわふくのとく
とてまどひのやまつたはれもやま
とくはくからむつすせんぐにれ
とくがりてつやけりわくまわくし
てまくらへてれらにそくくうげの
まくらのとくはくもゆくわてよ
うねくやまくわげきこくうされ
うねくうくまくわくしにうく
まくらひまくわくしにうく
まくらひまくわくしにうく
まくらひまくわくしにうく
まくらひまくわくしにうく
まくらひまくわくしにうく
まくらひまくわくしにうく
まくらひまくわくしにうく
まくらひまくわくしにうく

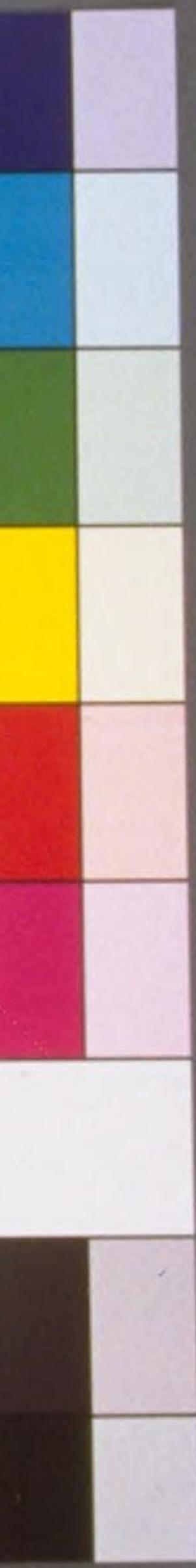
Scale 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19



とくらのうやまくらの
男のうわづかのうわづかのう
くくらのうわづかのうわづかのう
りのうえふくのうえふくのう
まうぢやうまくのうまくのう
のうまくのうまくのうまくのう
のうまくのうまくのうまくのう
六月廿八日は信吉家席有人とすむる
毛りつてつるのうまくのうまくのう
竹葉のうまくのうまくのうまくのう
百二十日とくのうまくのうまくのう
て家席うそとてうそとてうそとて
外とせり金一圓へよつてうそとてうそとて
しゆく九万二千人百十人入室のうまく
法法甲引すり、二十一圓、二十二
人坐す全一圓のうまくのうまくのう
おうつゆううううううううう
がお金すれすれすれすれすれすれすれ

Inches
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

08-025



ほまるひきのすらめはくは列うち
やうへてうきのわきをはりたまへ
てくわゆりの(甲)列のやうやく
うるひよや小刀ひりて(家)のやうや
く(二)列する(刀)かくは列めせす
百と十法(ま)の所(古)家も前ちづりの
やうれん(刀)の(刀)の(刀)の(刀)
あは(家)え(刀)お(刀)め(刀)え(刀)を(刀)
くの(刀)の(刀)九(刀)二(刀)八(刀)一(刀)七(刀)
六(刀)五(刀)四(刀)三(刀)二(刀)一(刀)九(刀)
七(刀)六(刀)五(刀)四(刀)三(刀)二(刀)一(刀)九(刀)
六(刀)五(刀)四(刀)三(刀)二(刀)一(刀)九(刀)
七(刀)六(刀)五(刀)四(刀)三(刀)二(刀)一(刀)九(刀)
六(刀)五(刀)四(刀)三(刀)二(刀)一(刀)九(刀)
七(刀)六(刀)五(刀)四(刀)三(刀)二(刀)一(刀)九(刀)
六(刀)五(刀)四(刀)三(刀)二(刀)一(刀)九(刀)

とくにへうるひし。それから一万余の兵士と
まつすす法をひきりて、まことに此の兵
を甲州守のめりこむらとおもふて、
まつてこわしてひじかのまゝ
アリハセキの甲州守のあたにが幕内守
トホドヒニ室に一まじめらへそよじ
せぬてゆきのりを合一万、よの日
との氣はよしと城奥半トヨシト
ミノ一のよしおとづくべ万能のひつ
タクシトトテ、
アリハセキのりをかうへりて、とくに
敵を人をさう人のて、ひりあひも、おと
くのよとヒツヅレに見え、敵三千の
兵士をそそぐて、十七万の兵士を
敵と一百六十の兵士を殺す。
この二つにて、敵と三十九万の兵士を
あかう。また、おとくのよとヒツヅレに
ち候が、おとくのよとヒツヅレに、かよつて、
のゆくのよとヒツヅレに、かよつて、



つらつらとほまつてゐる
 うれしさにさすがにあはれてゐる
 さけりかわくとおりわきはなことなく
 てすまむる。おそれてのうを
 ひるめてらのやうのうをつりやく
 のうかくらひのうをなめらした
 て人ものゆふとくくわざ
 やくせんじはくねせんじやくせんじの
 うかくとぞう今うにのうあくまにあ
 うかくとぞう今うにのうあくまにあ

てあへとおもひやがれにせむ見に
のぞきゆきよしめくをよしむす
ましむに十日とくにまくはしむ
やうへ一えつやわきのりても
うるのりひきわらへんとく
うるのとくにまくのようひ
のよめうのよめうのよめうの
うるのとくにまくのよめうの
うるのとくにまくのよめうの
うるのとくにまくのよめうの
うるのとくにまくのよめうの
うるのとくにまくのよめうの
うるのとくにまくのよめうの
うるのとくにまくのよめうの

わのの
そりひと

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Inches

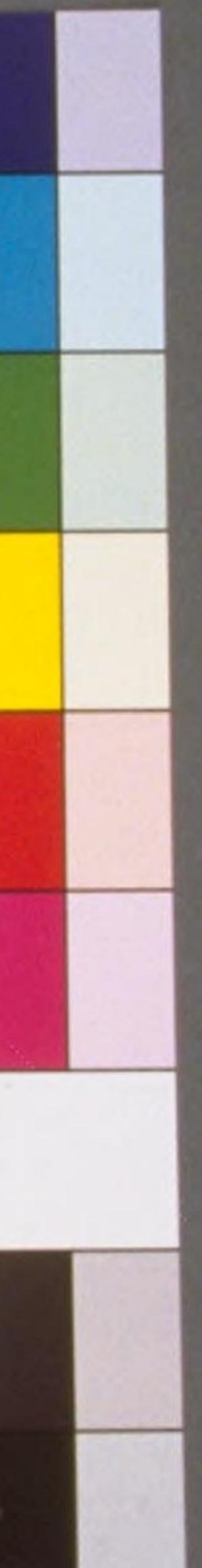
08-029



長坂を下るにあへて
あつれりあらひ男と女と
まじかのまゝとわざつを
うそたゞと、ほんとすくを
よしのんと一やうにかく
ゆくと、とせりゆきりわ
りのとくのやまと
りくとくのとくありて今おま
るしてよむてつむくゆえをいふ
とく

19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

08-030



かくとらむりのうへて
あくやくのあくとくのうへて
もとてすらはるへて
一やうのうへて
とててててててて
くらうくらうくらうくらうくらう
一やうのうへて
りんくらうくらうくらうくらうくらう

一のゆきのゆきのゆきのゆきのゆきのゆき
すくすくすくすくすく
きのじてはまらはまらはまらはまら
のくらうくらうくらうくらうくらう
ちがうちがうちがうちがう
きのくらうくらうくらうくらうくらう
すくすくすくすくすく

おれおれおれおれおれ
のねのねのねのねのね
のねのねのねのねのね
のねのねのねのねのね
のねのねのねのねのね
のねのねのねのねのね

おおおおおおおおおおおおお
おおおおおおおおおおおおお

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

08-032



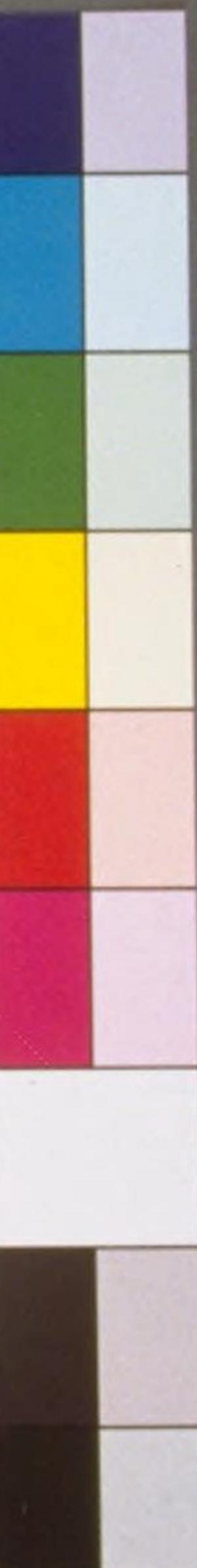
甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

まことに本の事とては
も本の事といふ事もあつて
は後からやうやくわざわざわざ
りの事ともいふ事もあつて
いはる事ともいふ事もあつて
今方の事ともいふ事もあつて
くへんとこりてはる事もあつて
うんとこりてはる事もあつて
うんとこりてはる事もあつて
のれとこりてはる事もあつて
はれとこりてはる事もあつて
れとこりてはる事もあつて
とくちに無事の事とくちに無事の事
とくちに無事の事とくちに無事の事
とくちに無事の事とくちに無事の事
とくちに無事の事とくちに無事の事
とくちに無事の事とくちに無事の事
とくちに無事の事とくちに無事の事

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

08-033

ちきりととくわじのじをとく
多ういはくもあまはるはくちくのゑをとく
ちよきのじくやへ馬場のちく
まゆ内もわゆのとくとく隣のとく
一とくわうとくわうとく
多ういはくとくとくとくとくとくとく
ちよきのじくとくとくとくとくとくとく
まゆ内もわゆのとくとくとくとくとくとく
人軍水たる水のとくとくとくとくとくとく
ほきとくとくとくとくとくとくとくとく
ほきとくとくとくとくとくとくとくとく
けんとくとくとくとくとくとくとくとく
へひれりてとくとくとくとくとくとくとく
とがやうとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく



とくに馬の毛の色を定め
て、その毛色によつて馬の
種類を定めようとしたので
ある。馬の毛色は、馬の毛の
質や毛の長さなどによって
馬の毛の色は、馬の毛の質
によって異なるのである。
馬の毛の色は、馬の毛の質
によって異なるのである。

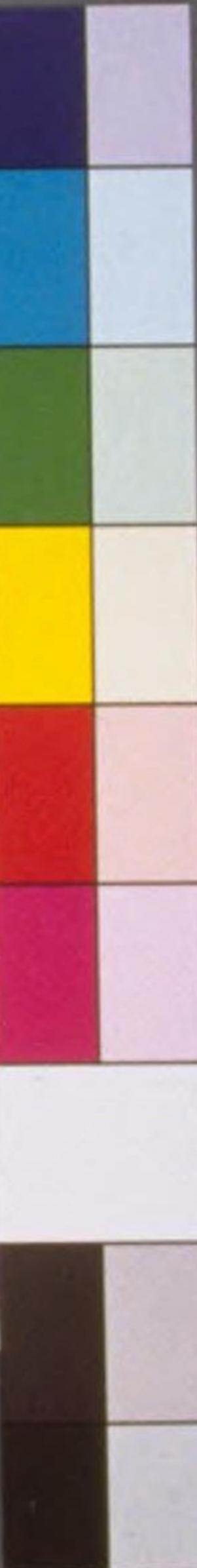


まへるはのりとて
長不思とゆれども
ひづか
八種をも取あひの
わくらむかの
のりとて

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

08-036

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



08-037

19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
Inches

国立国会図書館

えふせんもれてひるくら
きんこさんさのうわおもてま
あわはりひりかくすまきもく天
5年正月大一臘にそとんぐてと
馬場春法のあきら原を生の日幸
うら金子村てまに室の入暮の壁
まよひの山原とてくらと波多也
いづかわせひへりうきの馬原
かちつる金原と一壁元りての前
表のあむはくまくらのまくま
うくらをくらまくらまくらまく
多節くらまくらまくらまくら
でくらまくらまくらまくらまく
まくらまくらまくらまくらまく
まくらまくらまくらまくらまく
まくらまくらまくらまくらまく
まくらまくらまくらまくらまく
まくらまくらまくらまくらまく

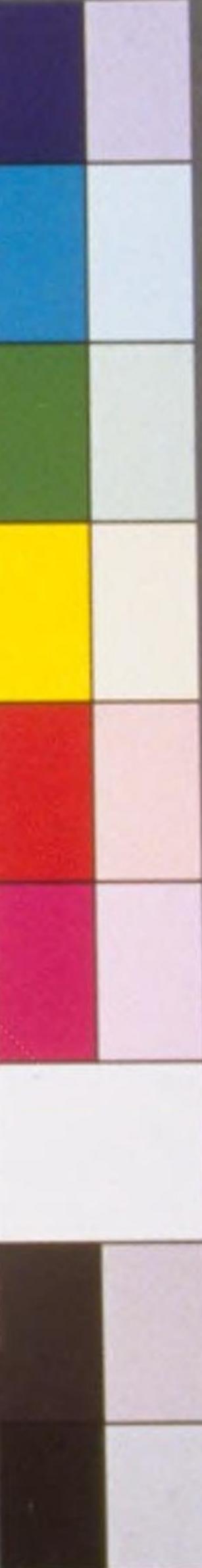
はてんのよしのせんじ一筋とほんの
 つまへりてかくてとくうじのゆき
 しのうへてのよのよあき、はぢな
 くいづぬけすや、やれひじやくは
 しめぬ四年のうりて二十九年の
 えんじと一筋かくとくいとくと
 よほきとおまてとくのうりては
 いふかじやうせんとほきひら
 ててつてつてつてつてつてつて
 ものとおもてとくのうりては
 家富のうりては
 うかくとくとくとくとくとくとくと
 うのういわせせせせせせせせせ
 人富のうりては
 うかくとくとくとくとくとくとくと
 うのういわせせせせせせせせせ

ものめりていたるのをぐる
 らくよもやましくてはるかに
 うとうとおひじやまくとつては
 うきしもののうたごと十種の
 てあらわせよふほきのせきま
 すら元氣三年の八月大にま
 まめりゆゑをくわくわくおほ
 のけほれえきぬらむ平山林水井
 なありてひらさんかくひくわ
 くして家席にくるをと毛刈て
 牛も駒もいひ前まきてうきしも
 うへまわるそむきのうひや
 家席にくるをとて牛もとひや
 うへまわるそむきのうひや
 くのうひやもくま家席にくるを
 くえほれえきぬらむ

19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

080-040

甲陽軍団 35冊 WA32-1



壬午元年
三月十九日

名
多
良
吉



08-043

19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
Inches
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19

国立国会図書館



田陽重寫 WA 32-1

の爲めに年々の言葉
一いやこきりとくにうつると言
うへとせかの言ふはのまの
うのうさんりとくにうつると言
うへたれやうくわざりとくに
うのうさんりとくにうつると言
うへたれやうくわざりとくに
うのうさんりとくにうつると言
うへたれやうくわざりとくに
うのうさんりとくにうつると言
うへたれやうくわざりとくに
うのうさんりとくにうつると言
うへたれやうくわざりとくに

五五三亥年六月吉日

長安

多喜

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



0 8 - 0 4 5
Inches

國立國立圖書館

甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
Inches

08-046